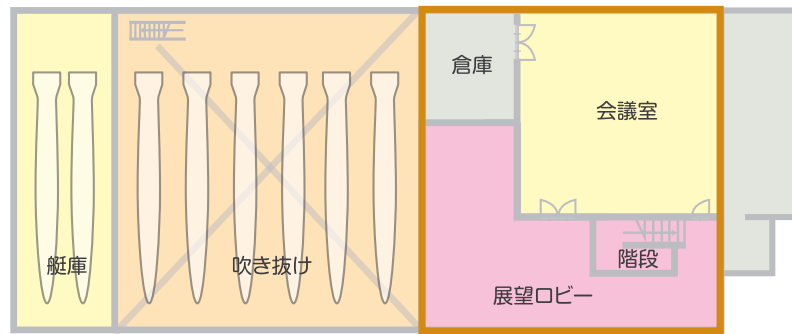
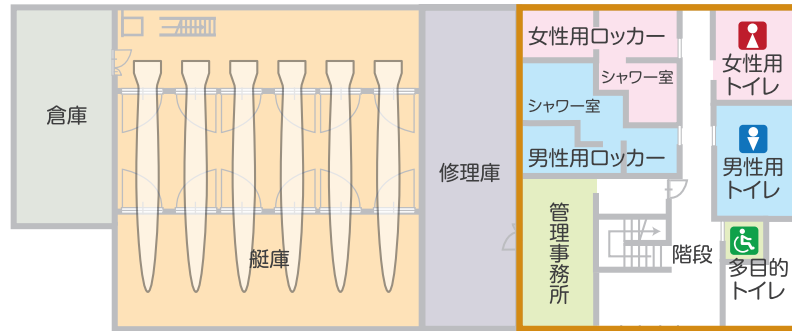


館内図

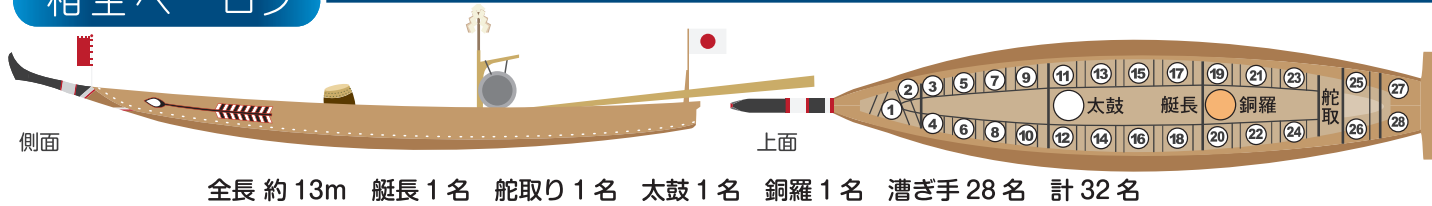
2階



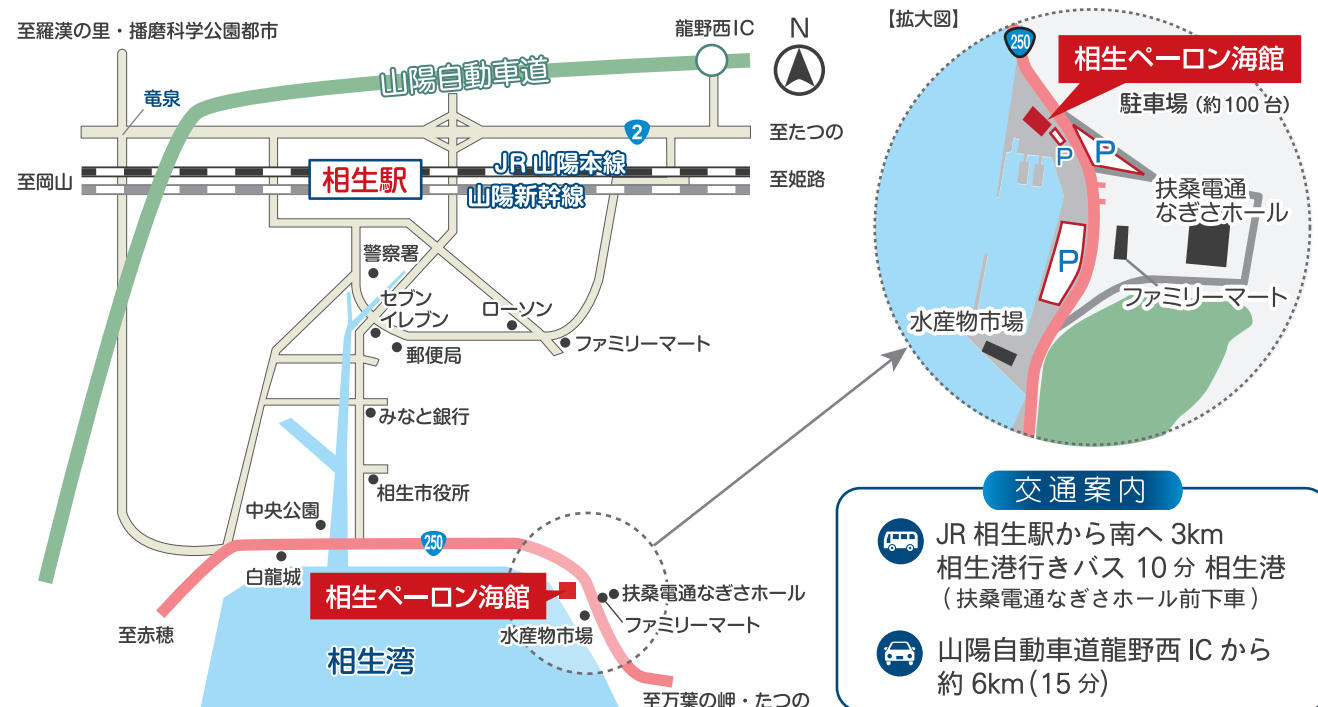
1階



相生ペーロン



交通マップ



相生ペーロン海館

相生ペーロン会館 〒678-0041 兵庫県相生市相生 6 丁目 7 番地 TEL.0791-23-7151
 管理者【相生市 地域振興課】
 〒678-8585 兵庫県相生市旭 1 丁目 1 番 3 号 TEL.0791-23-7133 FAX.0791-23-7137

相生ペーロン海館

Aioi Peron Boathouse & Museum



ペーロン伝来100周年 ～その先の未来へ～



伝統継承・文化の振興

- 「交流」「発信」「伝承」の拠点
- 地域住民の交流や観光の振興
- 住民参加による相生湾の活性化



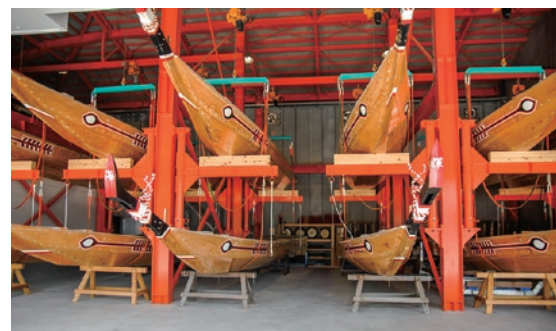
相生ペーロン伝来 100周年 ～その先の未来へ～

ペーロンの伝来、相生ペーロン祭のはじまり

ペーロン競漕は、大正 11 年（1922 年）に播磨造船所（現 ㈱ IHI 相生事業所）の長崎県出身の従業員によって長崎から相生の地に伝えられ、現在は相生を代表する祭「相生ペーロン祭」にて、海上花火大会、陸上パレードとともに、海上行事としてペーロン競漕が毎年盛大に行われています。
ドン、デン、ジャンと中国特有の銅鑼（ドラ）と太鼓の音に合わせて力漕するペーロン船の姿は、まさに龍が水面を駆けるようで壮観そのものです。



相生ペーロンの船とペーロン競漕



▲ペーロン艇庫

現在の相生ペーロンの船は、全長約 13mの木造の和船 で、それぞれに龍の名がついており、漕ぎ手 28 名、艇長、舵取り、銅鑼、太鼓の計 32 名が乗船し競漕を行います。
毎年 5 月の最終日曜日に開催する相生ペーロン祭では、ペーロン船 4 艇が全長 300mのコースを一往復（又は一往復半）し、その速さを競います。祭当日は、市内外より約 60 チームが参加し、熱気あふれる競漕を繰り広げます。

相生ペーロン海館の開設

相生ペーロンは、令和 4 年（2022 年）に、伝来 100 周年を迎えました。その拠点として平成 29 年（2017 年）に「相生ペーロン海館」を設置し、相生ペーロンの伝統と文化を次世代に継承し、広く振興を図っています。また、同年に国土交通省より「みなとオアシスあいおい」の認定を受け、みなとを核とした交流の場として地域の活性化を図っていきます。



相生ペーロンの歴史

年 号	内 容
大正 11 年（1922 年）	長崎からペーロン競漕が伝わり、播磨造船所海上運動会として開催
昭和 38 年（1963 年）	相生ペーロン祭初開催。海上の部としてペーロン競漕大会を開催
平成 4 年（1992 年）	相生ペーロン協会設立
平成 9 年（1997 年）	相生白龍城にペーロン海館開設
平成 14 年（2002 年）	長崎市とペーロン友好都市提携の締結。交流の活発化
平成 17 年（2005 年）	高知県須崎市と龍舟交流都市提携の締結
平成 28 年（2016 年）	「相生ペーロン」相生市無形民俗文化財に指定
平成 29 年（2017 年）	相生ペーロン海館開設（平成 29 年 9 月 18 日オープン）
令和 4 年（2022 年）	相生ペーロン伝来 100 周年



▲相生湾を眺める 2 階の展望ロビー



▲乗艇場



▲揚艇施設



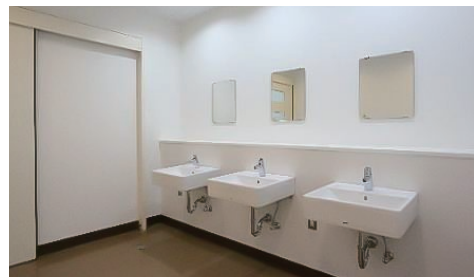
▲修理庫



▲会議室



▲ロッカー（更衣室）



▲ドレッサー（更衣室）

相生ペーロン海館 施設概要

船舶保管施設

用 途	ペーロン船艇庫、交流スペース
構 造	鉄骨造 2 階建
延床面積	1,053 ㎡

1 階	ペーロン船艇庫（格納艇数 14 艇）修理庫、倉庫 管理室、更衣室、シャワー室、トイレ
2 階	展望ロビー、会議室

揚艇施設

用 途	海上からの船の昇降
構 造	鉄骨造平屋建（ウインチ庫）
延床面積	22.09 ㎡（同上）
設 備	電動ウインチ、引揚台車乗艇施設

乗艇施設

用 途	ペーロン船の着岸、乗船
構 造	杭式係留施設
機 能	4 艇同時着岸（2 艇着き乗艇場 × 2 基）

駐車場

約 100 台

開館日及び開館時間

開 館 日	4月～10月：水曜日を除く毎日 11月～3月：土・日・祝日（12月29日～1月3日は休館）
開館時間	10時～16時